

2 概要説明

1)大会概要説明

- 1 大会名称 IBSA World Games Seoul 2015
 スローガン ～See with Passion, Run with Hope!～
- 2 大会期間 平成 27 年 5 月 8 日(金)開会式～ 18 日(月)閉会式 (11 日間)
- 3 開催地 韓国・ソウル(前回開催地:トルコ・アンタリア)
- 4 参加国・地域 未定
- 5 参加予定人数 未定
- 6 実施競技 10 競技
 【参加予定】陸上競技・柔道・ゴールボール・5 人制サッカー(B1、B2/B3)・
 パワーリフティング
 【不参加予定】水泳・自転車(タンデム)・テンピンボウリング・チェス・ショウダウン
- 7 日本選手団 選手:男子 63 名 女子 31 名 合計 94 名、ガイド:10 名
 (1 次エントリー) 競技団体スタッフ:56 名 本部スタッフ 5 名

No.	区 分	選 手		選手数 合計	ガイド	コーチ・ スタッフ	医療 スタッフ	スタッフ 合計	合計
		男子	女子						
1	陸上競技	16	10	26	10	9	0	9	45
2	柔 道	14	8	22		8	0	8	30
3	ゴールボール	6	6	12		8	0	8	20
4	5 人制サッカー(B1/B2・B3)	18	2	20		12	0	12	32
5	パワーリフティング	2	0	2		4	0	4	6
6	水 泳								
7	テンピンボウリング	7	5	12		10	0	10	22
8	チェス								
9	ショウダウン								
10	本部役員(団長含む)					4	1	5	5
合 計		63	31	94	10	55	1	56	160

8 特記事項

※ リオパラリンピック出場枠獲得大会

- ・ 5 人制サッカー:2015Regional Qualifier 枠としてアジア 2 枠が与えられる。
- ・ ゴールボール: 2015 IBSA Paralympic Qualification Ranking Tournament 枠としてアジア・パシフィック1枠が与えられる。
- ・ 陸上:2015 IPC AT 世界選手権および 2016 リオパラリンピック、標準記録突破該当大会
- ・ 水泳:クラス S11-13 については 2015 IPC SW 世界選手権および 2016 リオパラリンピック、標準記録突破該当大会

※ 公式マスコット Haechi, Otter, Eagle-owl

※ 大会公式ウェブサイト: <http://www.ibsawg2015seoul.org>

2) 競技日程について

Sport	Competition Venue	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日
Opening Ceremony	Jamsil Indoor Gymnasium			◎							
Athletics	Incheon Munhak Stadium	T	T	T	C	C	C	C	C		
Judo	Seoul Student Gymnasium	T	T	T	T	C	C	C	C		
Goalball (M)	JangChung Gymnasium	T	T	C (M/F)	C	C	C	C	C	C	C (M/F)
Goalball (F)	Jamsil Indoor Gymnasium	T	T		C	C	C	C	C	C	
Football (B1)	Songpa Women's Football Field	T	T	T	C	C	C	C	C	C	
Football (B2/3)	SK Handball Stadium (Olympic Park)	T	T	T	C	C	C	C	C	C	
Powerlifting	Woori Art Hall (Olympic Powerlifting Stadium)	T	T	T	C	C	C				
Swimming	Tancheon Swimming Pool	T	T	T	C	C	C	C	C		
Tenpin Bowling	Anyang Hogye Gymnasium	T	T	T	T	T	C	C	C	C	
Chess	Seoul Olympic Parktel	T	T	C	C	C	C	C	C	C	
Showdown	Seoul Olympic Parktel	T	T	T	C	C	C	C			
Closing Ceremony	Jamsil Indoor Gymnasium										◎

3) 競技会場・トレーニング会場について

実施競技・会場 9 競技(日本は 6 競技にエントリーの予定)*印は今回不参加

競技	競技会場名	所要時間
陸上競技	Incheon Munhak Stadium	1 時間
柔道	Seoul Student Gymnasium	20 分
ゴールボール(女子)	Jamsil Indoor Gymnasium	20 分
ゴールボール(男子)	JangChung Gyumnasium	30 分
5 人制サッカー(B1)	Songpa Women's Football Field	25 分
5 人制サッカー(B2/B3)	SK Handball Stadium	25 分
パワーリフティング	Olympic Powerlifting Stadium	30 分
水泳*	Tancheon Swimming Pool	30~40 分
テンピンボウリング	Hogye Bowling Center	40~50 分
チェス*	Grand Ballroom, Olympic Parktel	30 分
ショウダウン*	Meeting Room, Olympic Parktel	30 分
本部		

※トレーニング会場の情報はありません。

4) 主要日程

年	月	日	JPC・選手団		備考
15	1	20	IBSAライセンス登録希望枠数報告	NF⇒JPC	
15	1	22	IBSA ワールドゲームスソウル 2015 派遣事前説明会議	参加競技団体 JPC	
15	2	1	競技団体チームドクター連絡会議	JPC 医学委員会 NF チームドクター JPC	
15	2	20	エントリー国内締め切り	NF⇒JPC	
15	2	末	IBSAライセンス登録完了	NF/JPC⇒IBSA	
15	3	6	チームドクターによる健康診査完了	NF⇒JPC	* 健康診査完了を受け エントリーを行います
15	3	6	エントリー締め切り	JPC⇒LOC	
15	3	20	エントリー費支払い締め切り	JPC⇒LOC	
15	3	28	クラス分け用“Medical Diagnosis Form”を ISAS へアップロード完了	NF/JPC⇒IBSA	
15	5		選手団渡航①	日本選手団	
15	5		選手団渡航②	日本選手団	
15	5		クラス分け	日本選手団	
15	5	8	トレーニング開始	LOC	
15	5	10	開会式	日本選手団	
15	5	17	競技終了・閉会式	日本選手団	
15	5		選手団帰国①	日本選手団	
15	5		選手団帰国②	日本選手団	

3 選手団派遣方針・編成方針

1) 選手団本部体制について

■ 団長・副団長について

- ①参加競技団体の中で、全体的な立場から選手団を見ることができる方に依頼
- ②該当者がいない場合は、JPC 強化委員等から選出

■ 医務体制について

本部スタッフ(医務)として、帯同医師 1 名を配置の予定

■ 本部体制について

本部スタッフとして、JPC より 2 名程度を配置の予定

2) 選手団編成方針

日本代表選手団は、活力ある日本を代表するに相応しい選手・役員をもって編成すること。
なお、選手は当該国際競技連盟より出場権を与えられ、かつ十分な活躍が期待されるとして、当該競技団体が選考し、決定すること。

3) 選手・コーチ・スタッフ等の選考基準

■ 選手選考基準

当該競技団体が、次の全ての条件を満たす者を日本代表選手として選考し決定すること。

- 1 本大会の参加資格を満たしている者
- 2 競技団体が決定する選考基準を満たしている者
- 3 A: 本大会でメダルの獲得の可能性のある者
B: リオ 2016 パラリンピック、東京 2020 パラリンピックへの参加が期待される者
- 4 医学的観点から、日本代表選手として推薦できる者

■ コーチ・スタッフ等選考基準

当該競技団体が、次の全ての条件を満たす者をコーチ・スタッフ等として選考し決定すること。

- 1 本大会の参加資格を満たしている者
- 2 競技団体が決定する選考基準を満たしている者
- 3 医学的観点から、コーチ・スタッフとして推薦できる者

※ 競技団体は必ず選考基準を明確にし、選考委員会等を設置するなど団体内で機関決定した選手・コーチ・スタッフ等を決定すること。

※ 選考結果に対する不服申し立てがある場合は、競技団体内に不服審査委員会等を設置し、処理すること。

※ いかなる理由でも参加を取止める場合は、書面にて JPC に連絡すること。

※ パラリンピックを想定したチーム作りとし、選手数に対し適切なコーチ・スタッフ等の人員配置とすること。

※ 帯同コーチ・スタッフ、それぞれの役割を明確にすること。

※ 選手に対するスタッフ数や役割が適切でないと思われる場合は、競技団体と競技の上、JPC として調整する場合があります。

4 参加者の決定・メディカルチェック・競技エントリーについて

1) 参加者の決定手順

■ 参加者の決定手順

① 競技団体による選手・コーチ・スタッフ等の決定

- ・ 選考基準を元に選考委員会等団体での決定とすること。
- ・ 選手に参加資格があることを確認すること。
- ・ JPC 選手団編成方針、選手・コーチ・スタッフ等選考基準に沿った決定とすること。
- ・ チームドクターによるメディカルチェック・健康審査にて、健康状態に問題がないことを確認する。

② 参加者調書・誓約書・写真・パスポートコピー等必要書類を JPC に提出

- ・ 参加が決定した選手・コーチ・スタッフ等は、参加者調書にて JPC に連絡すること。

・詳細は、別紙のとおりとする。【別紙1】

③ 最終エントリー必要書類・メディカルチェック報告書の提出

・各競技のエントリーフォームを添付します。【別紙2】

・チームドクターによるメディカルチェック報告書(文書)及び健康状態経過報告書(一覧)を提出。

④ エントリー種目の確認

・ファイナルエントリー後、組織委員会から送付される各種目のエントリー状況については、各競技団体に十分を確認してください。

■ファイナルエントリー×切日

【国内締め切り】 2月20日(金)

【組織委員会締め切り】 3月6日(金)

※エントリー費支払い締め切り 2015年3月20日(金)までに支払い完了

※キャンセルポリシーは現在確認中

2) 参加資格について

■参加資格の確認

・陸上/水泳以外の競技については IBSA ライセンス登録が必要

・陸上/水泳競技については IPC ライセンス登録が必要

■ IBSA ライセンス登録 (ISAS) について

【別紙3】参照

■MQS について

・陸上/水泳競技については 2013年9月1日～2014年3月22日の期間に最低標準記録を突破していることが必要

・MQS の内容は別紙参照【別紙4】

3) 健康状態(メディカルチェック)について

競技団体チームドクターは、参加(予定)選手・役員の健康状態が大会参加に関して問題がないことを 3月6日までに 確認すること。

・競技団体チームドクターが設定する期間内に受けた健康調査(チームドクターが承認すれば H26 年度に受けたメディカルチェックでも可)を元に、チームドクターが内容を確認し、必要に応じて健康状態を個別に確認・指導を行なう。調査項目は当協会メディカルチェック事業で用いる基本健康調査書・医師診断書を推奨するが、チームドクターの判断で通常健康診断の項目とするなど調整を行ってもよい。

・選手・役員の健康状態に著しい問題があった場合には、参加の可否について競技団体内で協議を行なう。

・3月6日までに、競技団体チームドクターは、健康状態に問題がないことを確認した選手・役員のリストを JPC に提出する。健康調査に問題がないとされた選手についてのみ、JPC からの最終エントリーを行なうこととする。

・参加は認めるが継続した観察や現地でのフォローが必要と考えられる選手・役員については、チームドクターは可能な限り早く、報告書を JPC に提出する(最終締切りを 3 月末とする)。JPC はこの報告書を選手団帯同医に渡し、出発まで帯同医とチームドクターとの間で連絡を

取り情報を共有しておく。

- ・チームドクターは、渡航までに、健康審査の結果報告書を JPC に送付する。
- ・すべての過程において、不明な点や判断に迷うことが生じた場合はメディカルチェック部会に連絡していただきたい(メディカルチェック部会長 田島文博先生:tajibun@gmail.com)。

5 参加費・渡航・宿泊先について

1) 参加費について

■ 参加費についての考え方

助成金の対象となる経費(参加費用・キャピテーションフィー・渡航費・選手団ユニフォーム代等)については、JPC 指定強化助成金の中から支出する予定。(全体人数により競技団体負担が発生する可能性あり)

■ 助成金申請手続きについて

エントリーフィー・IBSA キャピテーションフィーは、平成 26 年度中に支払い期限となることから、平成 26 年度指定強化助成金の追加分として扱い、期日までに決定された選手・コーチ・スタッフ等の費用は、JPC から組織委員会に支払う。

それ以外の費用については、平成 27 年度強化助成金申請時に予算計上し、各競技団体から支払いになる予定。

■ 参加費用

◎1 名 995 ユーロ(宿泊費、食費、空港・ホテル・競技場の輸送)

*ただし宿泊は 5 月 8 日～18 日とする(その前後は追加支払い発生)

公式ホテル : シングル 270 ユーロ/ダブル 150 ユーロ

その他ホテル: シングル 180 ユーロ/ダブル 100 ユーロ

◎キャピテーションフィー 1名 25 ユーロ(直接 IBSA へ支払い)

2) 渡航について

■ 渡航についての考え方

- ・ 渡航は原則として各競技団体で行う。
- ・ 渡航日程は、競技・トレーニング・クラス分け等の日程を十分考慮すること。
- ・ 個人による渡航は可能な限り避け、原則チーム・グループで渡航すること。

■ 渡航手続き

- ・ 渡航を手配する旅行業者は、JPC にて複数の見積り・条件等を比較のうえ決定する。
- ・ 競技団体は、JPC が決定した業者の渡航アンケート等により、渡航希望を提出する。
- ・ JPC と旅行業者による調整後、渡航日程等を決定する。

■ 渡航費用

- ・ 渡航費用は、平成 27 年度強化費助成金を充当することが可能

■ 助成金申請手続きについて

- ・ 平成 27 年度強化費助成金申請要項に記載する。

■ 公式空港および到着後の輸送について

- ・ 公式空港：インチョン国際空港/金浦国際空港
- ・ 空港までの送迎・用器具輸送は組織委員会が用意する。

3) 宿泊先について

■ 大会公式ホテル

① Ramada Seoul : www.ramadaseoul.co.kr/eng/

112-5 Samsun-don, Gangnam-gu, Seoul Tel: +82-2-6202-2000 Fax: +82-2-6202-2001

② The K Hotel Seoul : www.thek-hotel.co.kr/e_seoul/

70, Baumwae-ro 12-gil, Seocho-gu, Seoul Tel: +82-2-571-8100

6 クラス分けについて

1) クラス分けについて

- ・ New と Review ステータスの選手はクラス分け必要
 - ※ ただし Review year が 2016 年以降の選手は本大会でのクラス分け不要
 - ※ New の選手の競技観察は各競技の規則に従って行われる
- ・ IBSA ライセンス登録が必要(2015 年 1 月 1 日より開始されたシステム:ISAS)

2) クラス分け受検手続

1. Classification Request Form (2015 年 1 月 22 日(木)現在未着)を作成の上 2 次エントリーの際に提出すること
2. ISAS 登録を完了すること(5 人制サッカー・ゴールボール・柔道・パワーリフティング・テンピンボウリング)

3) MDF の提出について

- ・ Medical Diagnosis Form(医師が英語で作成)を 3 月 28 日(土)までにデータベース上へアップロードすること【別紙5】
- * MDF および他に補足資料がある場合、書類の有効期限は1年以内のもの
- * ワールドゲームス出場予定選手分については JPC にてアップロード対応

上記手続きについて 3 月 28 日(土)までに完了していない選手は本大会でのクラス分け受検不可

【クラス分けに関する重要注意事項】

- ・ 予定された時間からの変更は受け付けない
- ・ MDF はじめ、関係書類の原本を持参
- ・ クラス分け同意書に署名が必要
- ・ パスポートを持参すること

4) クラス分け日程

- ・ 4 月 15 日(水)までに各国宛連絡予定

5) クラス分け責任者

- ・各競技のクラス分け連絡責任者を決定し JPC へ連絡する。

7 ユニフォームについて

1) 選手団ユニフォームについて

- ・平成 27 年度に実施される障がい別総合国際大会（複数競技の参加が見込まれる IBSA/IWAS/Inas の日本選手団ユニフォームは、共通デザインのユニフォームを製作予定。
- ・参加予定者分のサイズメ切は、2 月 20 日、エントリーと同日メ切。
- ・費用は JKA 助成金等の中から支出予定。
- ・アイテムは、スポーツウェア（ジャージ）上下、ポロシャツ 2 枚、キャップを製作予定。

2) 競技別ユニフォームについて

- ・現段階でユニフォームチェック等の連絡はないが、各競技のユニフォーム規定を遵守すること。
- ・競技別ユニフォーム製作費用は、平成 27 年度指定強化助成金から支出可能。

8 その他

1) ドーピング検査について

- ・ドーピング検査は実施予定。各競技において選手への指示を徹底すること。

2) プロテストについて

- ・各競技の監督、ヘッドコーチは、競技規則を必ず確認し、定められた通貨・金額で、常にプロテストフィー（抗議料）を現金で準備しておくこと。
- ・抗議・上訴が受け付けられる内容やタイミングについても、必ず競技規則を確認しておくこと。

3) メディア対応・報道等について

メディア・報道関係者に対応するアクレは発行予定ですが、現在マニュアルを含め情報待ちとなっています。東京パラリンピックに向け選手の活躍が数多く報道されることにより、日本国内での障がい者スポーツの理解が進むことが期待されます。各競技の選手・役員は競技に支障のない範囲でメディアへの協力をお願いします。（チーム内で担当者を決めておいてください。）

4) 知的財産等について

現時点では、組織委員会から本大会に関するロゴ使用規定、撮影制限、SNS ガイドライン等はありませんが、JPC としてはパラリンピック・アジアパラに準拠することを予定しております。参加者の肖像権を営利・非営利で使用すること、参加者のメディア行為、参加者の SNS 投稿等については、各競技団体・チームにてご注意ください。

5) 結団式・解団式の実施について

- ・日本選手団/JPC として式典実施の予定はありません。

6) 主将・旗手について

- ・必要が生じた場合は、日本代表選手団として主将・旗手を指名する場合がありますので、ご協力をお願いします。

7) 報告書の提出について

帰国後、報告原稿並びに写真を提出していただきますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

- ① 原稿の内容及び文字数：チーム単位で、1200～1500 字程度
- ② テーマ：当初目標と結果、結果に対する評価、課題、感想、各国の参加状況、競技の情勢
- ③ 資料：参加人数（クラス別・国別等）、個人成績一覧表、全競技リザルト
写真：報告書の口絵、当協会季刊誌等のイメージカットとして使用しますので、各競技・チームで5枚～10枚程度を、JPEG形式 200kb 以上でご提供下さい。